

女性運転タクシー 好評

優しい乗り心地 採用広がる

@最前線

勤務 自由度の高さ魅力

タクシー業界で、女性ドライバー採用の動きが広がっている。高齢化や人手不足が背景にあるが、女性目線の柔らかな対応に、高齢者や妊婦からの評判は上々だという。ある女性ドライバーが運転するタクシーの助手席に乗り、その一日に密着した。(上野綾香)

午前9時40分頃、石河実華さん(36)運転のタクシーは、「南大阪第一交通」(大阪府西成区)の営業所を出発した。

左右に気を配りながら、大阪市内の幹線道路を流す。約50分後、まず男女2人を乗せた。大きく交差点を曲がる直前に声を掛ける。「次、右に曲がります」。タクシーではあまり聞かない声かけに驚いた。

右左折だけでなく、急発進や急ブレーキにならないよう細心の注意を払っているという。1〜15歳の6人の子の母親でもある石河さんは「熱を出した子供を抱えてタクシーで病院に行った時、急ブレーキにひやっとしたことがあってね」と

乗客がいない時、昨年11月に入社するまでのいきさつを石河さんに尋ねた。子育てをしながら働くため、福利厚生が手厚い正社員の仕事を探していたという。別の業界の採用面接も受けたが、「子供が病気に

なったらどうする？」としっかりと聞かれ、あきらめたそう。そんな時、南大阪第一交通が女性ドライバーを募集していると知った。午後1時50分頃、昼休憩に、石河さんはコンビニで買ったサンドイッチを片手に、携帯電話で子供が通う

学校の緊急連絡メールの登録を済ませた。「家庭訪問がある時に早めに帰ったり、昼休憩の間に家で洗濯したりもできるんですよ」。客のセクハラなどの不安はないのだろうか。「今は車載カメラや(運転席の後ろの)防犯ボード、緊急ボタンもあるし、万が一事故を起こしても会社の人が駆けつけてくれる。新米だから、お客さんに叱られることはあるけど」と石河さんは笑った。

は来月には企業内保育所も開設する。女性採用に取り組むのは、同社だけではない。大阪府平野区の「ふれ愛交通」は3年前に女性向けの固定給制度を導入し、ピンク色の専用車両を用意した。病院に通う人が多い午前中は、ピンク車両の予約がほぼ埋まるという。京都には乗務員の大半が女性という会社もある。

「たばこの臭いが充満した男の職場」事故の相手とトラブルになったら怖い」と敬遠されがちなのも事実。最後まで変わらなかった。午後5時45分、タクシーは営業所に戻った。98キロ走り、売り上げは9組で1万円2500円。「いつもより少なかった」。ちょっと残念そうだったが、柔和な笑顔は、優しい運転と同じく最後まで変わらなかった。

全国ハイヤー・タクシー連合会の調査では、2014年度末の女性ドライバー数は6878人(全体の2.5%)。国土交通省は育児との両立がしやすい側面に着目し、20年度には約1万4000人に増やすことを目標にしている。昨年6月には女性雇用に取り組む事業者を「女性ドライバー応援企

一人ひとりの症状に適切な治療

薄毛

薄毛のお悩みなら親和クリニックへ。カウンセリング実施中。お気軽にご相談下さい。

医療法人社団 三幸音和会

親和クリニック大阪

0120-8686-71

診療時間 10:00-19:00 親和クリニック 検索

大阪府北区曽根崎新地1-4-20 桜橋IMビル2F

自由診療(標準価格)1,200,000円(税込)



石河さんの笑顔に「ホッとすると話す客もいる」といふ(大阪府西成区)＝櫻政哲也撮影

全国で6878人

「応援企業」認定制度も

業に認定する制度を始め、これまでに597社を認定した。タクシー業界では人手不足のため、車両の実働率が84%(01年度)から73%(15年度)に低下。高齢化も進み、厚生労働省によると、運転手の平均年齢は52・8歳(01年)から58・7歳(16年)に上がった。